

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○7月12日～

先週末は急落後、戻して相場は終わっていますが上昇トレンドが崩れかけているペアもあるため戻りがどこまでいくかの見極めが重要になりそうです。

アノマリー的には7月後半からお盆にかけては下げやすい時期になります。

また、今週は米国で指標発表が多く、消費者物価指数などの数値でインフレがおさまらない場合は金融緩和縮小が早まる可能性もあり、株価や金利動向と合わせて注目です。

<ドル/円>

ドル/円は109.5円で下げ止まり、110円まで戻してきましたが4月末から続く上昇トレンドに対する調整が入った形になりました。

111円あたりで上値が重くなる可能性があります。高値買いはリスクが高そうです。

<気になるクロス円>

クロス円も急落後は戻していますがテクニカル的には戻り売りが出やすくなりそうです。週足での上昇トレンドが維持できるかがポイントに。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

今週は、日本では5月機械受注、日銀金融政策決定会合、日銀展望レポート、黒田日銀総裁定例会見などがあります。

米国では6月消費者物価指数、6月卸売物価指数パウエルFRB議長発言、米地区連銀経済報告（ベージュブック）、7月ニューヨーク連銀製造業景気指数、前週分新規失業保険申請件数、7月フィラデルフィア連銀製造業景気指数、6月鉱工業生産、6月小売売上高、7月ミシガン大学消費者態度指数、5月対米証券投資などが発表されます。

欧州では、ドイツとユーロ圏で6月消費者物価指数、ユーロ圏で5月鉱工業生産などがあります。

ほかには、ニュージーランドとカナダで政策金利、中国で4-6月期GDPの発表などがあります。